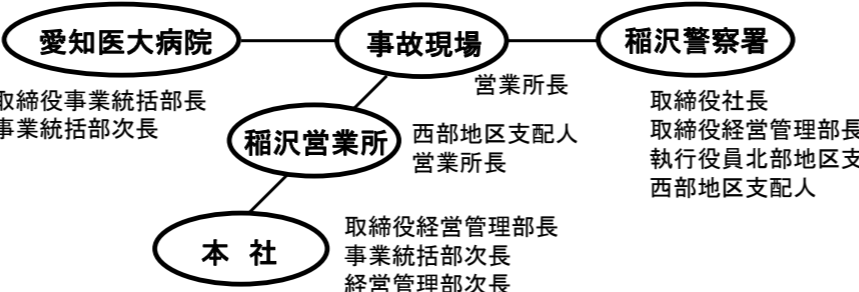


令和5年度 運輸安全マネジメントレビュー

取組計画	実施状況	経営トップレビュー
<p>1. 安全方針 私たちは、安全に対する意識の向上を図り、お客様を安全かつ快適に輸送します。 (1) キーワード 安全・安心・親切 (2) 指針 ア 安全風土の確立 イ コンプライアンス（法令遵守）の徹底</p> <p>2. 安全重点施策 (1) 全社員の安全意識の向上 (2) 安全輸送への必要な支出や積極的な投資 (3) P D C A サイクルの徹底による見直しと改善 (4) 情報共有のできる体制づくり (5) 教育・研修の計画的な実施</p> <p>3. 数値目標 (1) 有責事故 4 2 件以下 10万キロ当たり 0.35件以下 (2) バック事故 1 2 件以下 (3) 過失割合100%事故 2 1 件以下</p> <p>4. 取組内容 (1) 月別重点抑止項目の設定 (2) キックオフ大会の開催 (3) 事故防止勉強会の開催 (4) 名鉄タクシーグループ運輸安全会議への参加 (5) 外部研修への参加 (6) 運輸安全マネジメント委員会の開催 (7) 運輸安全マネジメント会議の開催 (8) 班長会議、班会議の開催 (9) 事故惹起者への指導・教育 (10) ヒヤリハット情報の収集・活用 (11) 交通安全運動の展開（春夏秋冬、年末年始） (12) 経営トップ、安統管による職場巡視 (13) 経営管理部門による職場巡視 (14) 健康診断の実施（定期・指定業務） (15) 保健師による健康指導の実施 (16) 無事故表彰 (17) 重大事故訓練 (18) 教育・訓練（新入社員・階層別等） (19) 全社交通安全祈願（1月） (20) 安全投資 (21) その他</p> <p>5. 内部監査 内部監査委員会による内部監査（3月）</p>	<p>1. 安全方針 2. 安全重点施策 (1) 各職場の運輸安全マネジメント掲示板に掲出 (2) コンプライアンス月間に携帯カード所持チェック、再配布</p> <p>3. 数値結果 (1) 有責事故 本年度 62件 目標比 +20件 前年度比 +14件 10万キロ当たり 本年度 0.51件 目標比 +0.16件 前年度比 +0.11件 名鉄タクシーグループ 目標比 +0.162件 (2) バック事故 本年度 16件 目標比 + 4件 前年度比 + 2件 (3) 過失割合100%事故 本年度 41件 目標比 +20件 前年度比 +11件 (4) 11月27日 稲沢営業所で重大事故発生 重大事故への対応は別紙にてとりまとめ</p> <p>4. 取組の実施状況 (1) 計画通り実施 (2) 4/27 タクシーHD取締役営業本部長講話、講師：MS&ADインターリスク総研 (3) 事故が多発した瀬戸（8月）、小牧営業所（10月）で事故防止勉強会を開催 (4) 第2回（7月）、第3回（11月）セミナーに参加 (5) 中部運輸局主催 自動車事故防止セミナー等に参加（4月、5月、2月） (6) 計画通り実施 (7) 計画通り実施 (8) 計画通り実施 (9) ドラレコを用いた個別指導を随時実施（所長同席） (10) 重点営業所（一宮、春日井）を中心に取り組んだ (11) 計画通り実施 (12) 計画通り実施 (13) 経営管理部門も経営トップ、安全統括管理者に同行して職場巡視を実施 (14) 計画通り実施 (15) マネジメント会議で所長に指示、また個別に面談を実施 (16) 基準に従い該当営業所を表彰した (17) 11月27日の重大事故への対応をまとめ、2月の管理者セミナーにおいて重大事故発生時の行動について教育を実施 (18) 7/1に教育センターを新設し、新入社員教育を強化 2月に現場管理者、本社主任職以上を対象に管理者セミナーを開催 (19) 労使幹部で交通安全祈願 真清田神社（12月）成田山（1月） (20) 安全投資 衝突被害軽減ブレーキのアップグレード、ドライブレコーダーの更新 女性乗務員に警報ブザーを配布（携行） (21) その他 9月6日 台風13号の接近に伴い、災害対策会議を招集</p> <p>5. 内部監査 (1) 監査日 令和6年3月22日 本社会議室 (2) 監査員 経営管理部次長 対応 安全統括管理者、事務局 (3) 講評・所見（詳細は内部監査報告書参照） ・11/27重大事故に対し経営トップの積極的な関与・指示のもと適時・適切な対応を行った。 ・重大事故訓練は毎年必ず実施し事故に備えることが必要 ・ヒヤリハット情報の収集は重点地区だけでなく全営業所が当事者意識をもって積極的に取り組むことが大切</p>	<p>1. 安全方針 2. 安全重点施策 コンプライアンスと合わせて携帯カードを携行させ意識の浸透を図る。</p> <p>3. 数値結果等について 有責事故は62件。2年連続で前年を上回る結果となってしまった。 10万キロ当たり件数は、名鉄タクシーグループの目標値0.348件を大幅に上回った。 内訳を見ると過失割合100%の事故が前年よりも増加し66%を占めており、その中でも重点項目のバック事故が最も多く目標を超えて16件発生した。 特に多発して目標を大きく上回った小牧、瀬戸に対しては、事故防止勉強会を開催し経営トップ、安全統括管理者も出席して抑止に取り組んだ。 本年度は、重大事故防止特別委員会でとりまとめた事故防止対策にしっかり取り組み、重大事故の撲滅と増加傾向の事故件数の大幅な減少を目指す。 重大事故に対する経営トップレビューは別紙にてとりまとめ</p> <p>4. 本年度の取組み (1) 中期計画（R5年度～R7年度）に沿って取組みを進める (2) 事故防止研修会の開催 令和6年度のスタートにあたり、事故防止研修会を開催した（3/27） 講師：稲沢警察署交通課長、自動車事故対策機構 安全統括管理者から、令和5年度の結果、重大事故の状況、令和6年度の取組みについて説明と指示を行った。 (3) 事故防止教育の実施 稲沢営業所の全乗務員を対象に「ながら運転禁止」の徹底をはじめ事故防止教育を実施する。 中期計画に沿って、本年度も管理者を対象に事故防止勉強会を開催する。 (4) ヒヤリハットの情報収集・活用 中期計画に沿って、本年は稲沢、小牧営業所を重点営業所に設定し特にしっかり取り組んでもらう。 (5) 高齢者の健康状態、意欲等を把握する目的で、再雇用契約（更新）時に保健師又は所属長が面談を実施し「面談シート」で記録する。 (6) 高齢者の65歳受診後の適齢診断は3年毎としているが、これを2年毎に変更し、高齢者の運転適性の状況把握体制を強化する。 (7) 労働時間管理の重要項目として、厳正な点呼、SDカードの適正な取扱い、休憩の確保を設定し全営業所で徹底を図る。 (8) 安全投資を実施 ドライブレコーダーの更新 本年度は全社を対象に新型への更新を進める 自社簡易スタンドの建設（2営業所） 回送の削減、ゆとりのある運転環境の向上</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

令和5年度 運輸安全マネジメントレビュー 11/27発生 重大事故関連

発生状況	対応状況	経営トップレビュー
<p>1. 発生日時 令和5年11月27日 14時30分頃 2. 場所 稲沢市矢合町壱本松地内（県道） 3. 乗務員 稲沢営業所 営業係（再雇用）67歳 4. 発生内容 乗務員は、稲沢市平和町での営業を終え戻る際、片側1車線の直線道路を走行中（制限速度40キロに対し23キロで走行）に路側帯内の歩行者を轢くとともに駐車中の乗用車に衝突し停止した。被害者は病院へ搬送後、死亡</p>  <p>5. 警察からの通知 乗務員は、運転中にパンを食べていた、床に落ちたパンの袋を取ろうとした、動き出してからシートベルトを着用（ながら運転）、交差点に赤信号で進入（前方不注意）、並びに公共物への接触（無届け）を起こし、警察より「安全運転義務違反による死亡事故」と通知を受領した。</p>	<p>1. 直後の対応 経営トップの指示により、各担当が次のとおり配置され、ご遺族に寄り添い対応した。</p>  <p>2. 稲沢営業所重大事故対策会議 経営トップは、発生後直ちに稲沢営業所重大事故対策会議の開催を指示した。 ①11月27日 18時 第1回稲沢営業所重大事故対策会議 開催 ②11月28日 1時 第2回稲沢営業所重大事故対策会議 開催 ③11月28日 8時 第3回稲沢営業所重大事故対策会議 開催 ④11月29日 13時 第4回稲沢営業所重大事故対策会議 開催 ⑤12月 2日 13時30分 第5回稲沢営業所重大事故対策会議 開催 ⑥12月 4日 18時 第6回稲沢営業所重大事故対策会議 開催</p> <p>3. 重大事故防止特別委員会 12/5 運輸安全マネジメント会議が開催され、重大事故防止特別委員会の設置が決議された。 12/27 第1回重大事故防止特別委員会 開催 …事故の原因究明を協議 1/27 第2回重大事故防止特別委員会 開催 …事故防止の取組みを協議</p> <p>4. 事故防止教育 (1) 事故後、速やかに稲沢営業所の全乗務員に対して、安全統括管理者をはじめ役員が営業所に出向いて事故防止教育を実施した。 12/11 取締役事業統括部長（安全統括管理者） 12/12 執行役員北部地区支配人 12/13 取締役経営管理部長 (2) 2月に管理者セミナーを開催。現場管理者を中心に事故防止教育を実施した。また、今回の事例を出しながら、重大事故発生時の対応方についての教育も実施した。 ・日時 2/14、2/15、2/20 13:00～17:00 ・対象 全営業所管理者、本社主任職以上 (3) 毎月27日を「安全誓いの日」に制定</p> <p>5. 安全投資 ①衝突被害軽減ブレーキのアップグレード ②ドライブレコーダーの更新 ③女性乗務員に警報ブザーを配布（携行）</p>	<p>1. 発生に至った背景と今後について 今回の事故の原因については、第1回重大事故防止特別委員会においてまとめられたが、会社は重く受け止めなければならない。当社も現場もこれまで「事故防止」に必死に取り組んできたのか。当社はこれまで重大事故がほとんど起きていなかったために、事故の怖さを軽く考え会社組織としての取り組みが十分でなかったのではないかと。今後は、全従業員が安全意識を高め、会社組織として事故防止に取り組む必要がある。毎月27日を「安全誓いの日」に制定したが、今回の重大事故を決して風化させることなく、常に「安全」を強く意識して「事故防止」に必死に取り組む風土を醸成していく。</p> <p>2. 第1回重大事故防止特別委員会でとりまとめた「事故の原因」 ①直前に床に落ちたパンの袋を取る「ながら運転」により前方の確認が散漫になったこと、またハンドルから手を放した不安全運転が直接的原因 ②高齢に伴う「安全運転意識」の低下 ③高齢に伴う集中力の低下 ④勤務時間と休憩時間の区別ができていなかった。</p> <p>3. 第2回重大事故防止特別委員会でまとめた「事故防止に向けた取り組み」 ①「ながら運転禁止」の徹底をはじめ、事故防止教育を全乗務員に対して実施する。 ②稲沢営業所は勿論、他の営業所、配車センターの全管理者並びに本社事務部門の者に対して、管理者の心得、管理者の業務内容、事故処理方、労働時間管理などについて研修を実施し、管理者のレベル向上を図る。 ③高齢者の健康状態、意欲等を把握する目的で、再雇用契約（更新）時に保健師又は所属長が面談を実施し「面談シート」で記録する。 ④現在、高齢者の65歳受診後の適齢診断は3年毎としているが、これを2年毎に変更し、高齢者の運転適性の状況把握体制を強化する。 ⑤労働時間管理の重要項目として、厳正な点呼、SDカードの適正な取扱い、休憩の確保を設定し、全営業所に対してチェックをかけて徹底を図る。 ⑥安全投資を実施 衝突被害軽減ブレーキのアップグレード、ドライブレコーダーの更新 女性乗務員に警報ブザーを携行させる</p> <p style="text-align: right;">以上</p>